

花の季節
私の時
秋

月見のススキ

文・絵 大宮エリー

秋の花、といわれてすぐ思い浮かぶのは、やはりススキ。一番秋を感じる。ススキは、尾花と呼ばれるそう。豊かな実りと無病息災を祈るためにお月見には欠かせない花。緑起のいい目出度い花のくせに、なんだかこう怪しい感じ、質素な感じがいい。質素なお月見に、寝に、なくてはならない花。この花がいないと始まらないのである。そんな存在ですごく不思議である。だいたい寝になくはないという、華やかな存在ではない。人間も花も。パーティーで人気者といえば、質素堅実な人柄ではなく、派手で明るく元気なタイプであろう。ススキは華やかとは程遠い。ただ、実り、豊潤、という言葉そのものを、素直に堅実に放っている。黄金の輝き、穂のふくらみ、羽のように、たなびく。

秋の花、といわれてすぐ思い浮かぶのは、やはりススキ。一番秋を感じる。ススキは、尾花と呼ばれるそう。豊かな実りと無病息災を祈るためにお月見には欠かせない花。緑起のいい目出度い花のくせに、なんだかこう怪しい感じ、質素な感じがいい。質素なお月見に、寝に、なくてはならない花。この花がいないと始まらないのである。そんな存在ですごく不思議である。だいたい寝になくはないという、華やかな存在ではない。人間も花も。パーティーで人気者といえば、質素堅実な人柄ではなく、派手で明るく元気なタイプであろう。ススキは華やかとは程遠い。ただ、実り、豊潤、という言葉そのものを、素直に堅実に放っている。黄金の輝き、穂のふくらみ、羽のように、たなびく。

秋の花、といわれてすぐ思い浮かぶのは、やはりススキ。一番秋を感じる。ススキは、尾花と呼ばれるそう。豊かな実りと無病息災を祈るためにお月見には欠かせない花。緑起のいい目出度い花のくせに、なんだかこう怪しい感じ、質素な感じがいい。質素なお月見に、寝に、なくてはならない花。この花がいないと始まらないのである。そんな存在ですごく不思議である。だいたい寝になくはないという、華やかな存在ではない。人間も花も。パーティーで人気者といえば、質素堅実な人柄ではなく、派手で明るく元気なタイプであろう。ススキは華やかとは程遠い。ただ、実り、豊潤、という言葉そのものを、素直に堅実に放っている。黄金の輝き、穂のふくらみ、羽のように、たなびく。



「フォーチュン フラワーズ」 2017 / acrylic on canvas
©Ellie Onits, courtesy of Tomio Koyama Gallery

秋の花、といわれてすぐ思い浮かぶのは、やはりススキ。一番秋を感じる。ススキは、尾花と呼ばれるそう。豊かな実りと無病息災を祈るためにお月見には欠かせない花。緑起のいい目出度い花のくせに、なんだかこう怪しい感じ、質素な感じがいい。質素なお月見に、寝に、なくてはならない花。この花がいないと始まらないのである。そんな存在ですごく不思議である。だいたい寝になくはないという、華やかな存在ではない。人間も花も。パーティーで人気者といえば、質素堅実な人柄ではなく、派手で明るく元気なタイプであろう。ススキは華やかとは程遠い。ただ、実り、豊潤、という言葉そのものを、素直に堅実に放っている。黄金の輝き、穂のふくらみ、羽のように、たなびく。

国	作家	執筆者	文献タイトル	媒体名	発行日	頁	発行元	展覧会名
J	大宮エリー		花の季節 私の時 秋 月見のススキ	草月	2018年9月1日 秋 338号	pp. 56 -57	草月文化事業 株式会社	

2018 AUTUMN

朝月

SOGETSU

「場」